

# 政策調整会議の概要

開催日 平成 26 年 5 月 8 日 (木)

## ◎項 目

- 1 高知県の経済概況について【総務部】
- 2 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】

## ◎内 容

### 1 高知県の経済概況について【総務部】

総務部から、資料に基づき高知県の経済概況について概要説明が行われた。

#### 【主な説明概要】

(総務部)

- ・ 4 月 10 日時点での日本銀行高知支店の基調判断は、高知県の景気は緩やかに回復しつつあるということで、3 月 4 日発表分よりやや上向きの表現になっている。
- ・ 大型小売店販売額の 2 月の状況は、衣料品の販売額が 5 カ月連続で減少したが、飲食料品が 9 カ月連続で増加したため、全体では 3 カ月ぶりのプラスとなっている。
- ・ 主要観光施設入込客数について、3 月は 26 万 6,000 人で、2 カ月ぶりのプラスとなっている。
- ・ 有効求人数は 9.3%増の 1 万 4,520 人となり、2 月に続き 1 万 4,000 人を超え、過去最多を更新し、54 カ月連続でプラスとなっている。新規求人数も 12 カ月連続のプラスとなっており、多くの産業で前年同月比が 2 ケタの伸びを示している。
- ・ 有効求人倍率は、2 月に続き 0.8 倍を超える 0.82 倍と、過去最高になっている。全国は前月比で 0.02 ポイント上昇して 1.07 倍となり、16 カ月連続でプラスとなった。
- ・ 企業倒産状況 (3 月分) について、倒産件数は 2 件で負債総額は 2 億 100 万円、前月比での件数は 4 件減少し、負債総額も 6 億 5,500 万円減少している。

### 2 各部局等の主要な取り組み動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の主要な取り組みに関する資料を配付の上、各部局による概要説明が行われた。

#### 【主な説明概要】

(地域福祉部)

5 月 30 日、31 日に (仮称) 子ども総合センター基本設計概要説明会を開催する。内容としては、老朽化をしている療育福祉センターと中央児童相談所の建物を現在の療育福祉センターの敷地 (高知市若草町) で、一体的に改築整備をするものである。説明会は、利用者・関係者向け及び近隣住民向けにそれぞれ今年の 1 月、2 月に行っており、今回は 2 回目になる。

建物の概要は、鉄筋コンクリート 3 階建てで、延べ床面積は約 9,100 平方メートル。肢体不自由児の入院ベッドが 19 床で、児童精神科・小児科などの外来診療、それから理学療法などのリハビリテーション機能をはじめ、発達障害の臨床研究を行う高知ギルバーク発達神経精神医学センターや障害のある子どもの通園施設、また児童相談部

門、そして虐待を受けた子どもや非行の子どもの一時保護をする機能などを整備する予定である。

両機関が一体的に子どもに関するあらゆる相談に応じていくということで、機能を充実する予定で、災害時には福祉避難所として活用する。鉄筋コンクリート建てだが、できるだけ内装には木を使って木質化を図っていきたいと考えている。

平成 26 年度に実施設計、27 年度から 29 年度途中まで建設工事を行い、29 年度中にオープンをする予定である。

(観光振興部)

5 月 26 日に J A L × 高知県 JAPAN PROJECT のお披露目会を行う。6 月に J A L とコラボレーションをして、高知県のいろんな産品などを PR する予定である。具体的には、機内誌「SKYWARD」の日本語版で、「高知家の食卓」ということで高知の食の魅力をカラー 10 ページで紹介していただくとともに、英語版では土佐和紙を中心にして高知県の文化を PR する予定である。

また、国内線のファーストクラスの機内食で、城西館のプロデュースにより、高知県産品を使った機内食を上旬・中旬・下旬と 3 回に分けて新しいメニューで提供していただくことになっている。

それから、羽田空港のサクララウンジで、農業振興部、産業振興部にも協力をいただき、日本酒や高知の産品を試食していただくコーナーを設けることにしている。